

結核年報2012 (1) 結核発生動向速報・外国生まれ結核

結核研究所疫学情報センター

キーワード：結核，人口10万対登録者数，潜在性結核感染症，出生国，職業

はじめに

結核研究所疫学情報センターは，結核登録者情報調査から，わが国の結核患者の登録状況を集計・解析し，「結核の統計」として毎年発表している。2011年度分は「結核の統計」の概要を4回に分けて紹介しているが，2012年度分についても同様に，(1) 結核発生動向速報・外国生まれ結核，(2) 小児結核・高齢者結核，(3) 患者発見・診断時病状，(4) 治療・治療成績，にまとめて報告する予定である。今回は，このうち(1)について報告する。なお，新登録結核患者数には，潜在性結核感染症(Latent Tuberculosis Infection, LTBI)患者は含めない。

わが国では，1998年以降，結核発生動向調査項目に患者の国籍情報(日本国籍か外国国籍か)が追加され，以後外国人結核患者の発生動向分析が可能となった。2007年からは入国時期(5年以内か否か)と国籍も追加され，より詳しい分析が可能となった。「結核に関する特定感染症予防指針」¹⁾に準じた結核発病ハイリスク対策の一環として，2012年以降は，それまでの国籍情報についての入力項目が出生国(日本生まれ・外国生まれ)に変更され，外国生まれの場合，入国時期と出生国名の情報が入力されるようになっている。

結核患者発生動向

(1) 人口10万対年間新結核患者登録者数(新登録率)の年次推移(図1)

図1に，全結核と喀痰塗抹陽性肺結核の人口10万対年間新結核患者登録者数年次推移を示す。2012年の人口10万対新全結核患者登録者数は16.7(患者数21,283人)で，前年17.7(患者数22,681人)からの減少率は6.0%で

あった。人口10万対新全結核患者登録者数が20未満となった2007年以降では比較的大きな減少率を示したが，2010年から2011年での減少率は2.3%で小さく，過去2年間の平均年間減少率は約4%である。

人口10万対喀痰塗抹陽性肺結核(初回治療+再治療)患者登録者数は，2000年以降人口10万対全結核患者登録者数と同様に減少している。2011年から2012年の登録率は6.8(患者数8,654人)から6.5(患者数8,237)になり，減少率は4.6%であった。

(2) 新登録結核患者数・率の性・年齢分布(図2・表1)

図2は，性・5歳年齢階層別の新登録結核患者数の分

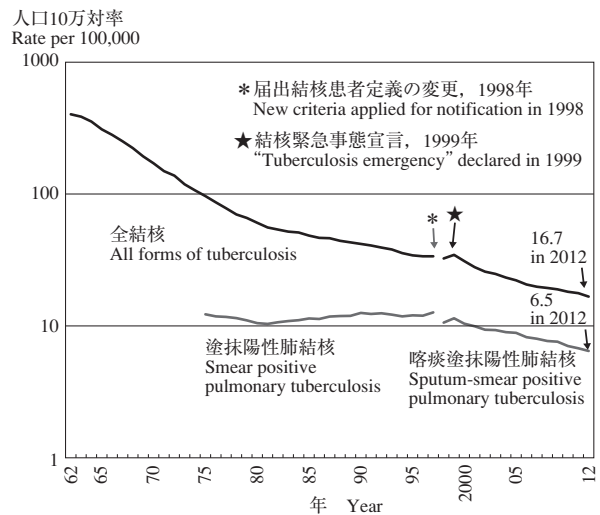


図1 人口10万対年間新結核患者登録数の年次推移，1962～2012年

Fig. 1 Annual trend of tuberculosis notification rate (all forms, sputum-smear positive pulmonary tuberculosis) per 100,000 population in Japan, 1962-2012

表1 新登録結核患者数 (全結核, 初回治療・再治療別, 肺結核・肺外結核別), 年齢階層別, 2010~2012年
Table 1 Number of newly notified tuberculosis patients (all forms, new and re-treatment, pulmonary and extra-pulmonary), by age group, in Japan, 2010-2012

年齢階層 Age group	新登録全結核患者数 Tuberculosis notifications, all forms (#1)			新登録結核患者数 (罹患率) Tuberculosis notification rates, all forms (#2)			初回治療結核 New tuberculosis						再治療結核 Retreatment tuberculosis						
	肺結核 Pulmonary tuberculosis			肺外結核 Extra-pulmonary tuberculosis			肺結核 Pulmonary tuberculosis			肺外結核 Extra-pulmonary tuberculosis			肺結核 Pulmonary tuberculosis			肺外結核 Extra-pulmonary tuberculosis			
	2010	2011	2012	2010	2011	2012	2010	2011	2012	2010	2011	2012	2010	2011	2012	2010	2011	2012	
総数 Total	23,261	22,681	21,283	18.2	17.7	16.7	8,237	7,937	7,663	5,866	5,363	5,350	2,544	2,619	2,132	4,12	408	336	237
0-14	89	84	63	0.5	0.5	0.4	7	5	4	15	12	4	33	32	30	0	0	0	2
15-19	251	157	165	4.2	2.6	2.7	58	42	38	73	49	40	71	35	46	3	0	5	2
20-29	1,536	1,417	1,288	10.9	10.4	9.7	374	347	320	500	426	387	346	358	304	209	189	188	21
30-39	1,921	1,718	1,528	10.7	9.6	8.9	567	494	423	540	427	439	396	408	310	296	270	258	17
40-49	1,764	1,820	1,600	10.6	10.5	9.1	568	592	514	486	442	428	285	323	244	25	24	22	14
50-59	2,171	2,049	1,795	13.4	12.8	11.5	784	771	631	585	472	462	282	296	239	18	38	23	13
60-69	3,610	3,232	3,012	19.9	17.5	16.3	1,262	1,134	1,083	863	709	742	386	402	306	35	34	38	25
70-79	5,000	4,875	4,595	38.8	36.6	33.7	1,800	1,649	1,657	1,173	1,125	1,082	405	402	333	41	40	33	62
80-89	5,623	5,897	5,753	82.6	82.8	77.6	2,271	2,286	2,339	1,301	1,361	1,400	297	302	261	28	35	23	128
90+	1,296	1,432	1,484	91.8	99.1	97.1	546	617	654	330	340	366	43	61	59	2	1	2	17
菌検査結果不明 Bacteriological test results unknown																			
肺結核 Pulmonary tuberculosis																			
肺外結核 Extra-pulmonary tuberculosis																			
その他菌陽性肺結核 Other bacteriologically positive sputum-smear tuberculosis																			
その他菌陰性肺結核 Other sputum-smear negative tuberculosis																			
菌検査結果不明 Bacteriological test results unknown																			

*1: "All forms" include new and retreatment tuberculosis patients. *2: 人口10万対率 Rate per 100,000 population.

布を, 2002年と2012年で比較したものである。2002年に比較的是っきりとしていた成人若年層での山は2012年においては低くなり, 高齢者層の山はより高齢の年齢層へと移動する傾向となっている。

表1に, 新登録全結核患者数および人口10万対新全結核登録者数, 初回治療・再治療結核患者数, 肺結核・肺外結核患者数について, 年齢階層別に過去3年間分を示す。小児(15歳未満)の新登録全結核患者数は2006年以降100人を下回っており, 2012年は63人となった。一方, 結核患者での高齢化傾向はさらに進み, 60歳以上が69.7%(前年68.1%), 70歳以上が55.6%(前年53.8%), 80歳以上が34.0%(前年32.3%)を占めるようになっている。2010年から2012年までの年齢階層別人口10万対新全結核患者登録者数では, 各年齢階層でおおむね減少傾向を示した。初回治療結核患者のうち, より感染性の強い喀痰塗抹陽性肺結核患者数の年齢階層別推移では, 80歳以上の年齢層で増加傾向を認めている。2010年から2012年までの再治療結核でも, おおむね各年齢階層において減少傾向を示した。

(3) 新登録潜在性結核感染症(LTBI)登録者数(表2)

2012年の新登録潜在性結核感染症者数は, 2010年4,930人から2011年10,046人に著増したが, 2012年は8,771人に減少傾向を認めた。2011年のLTBI登録者数増加の要因については, 2012年に実施された全国保健所調査により, 「2010年のクォンティフェロン(QFT)検査年齢制限撤廃による検査実施数の増加」「予算措置・

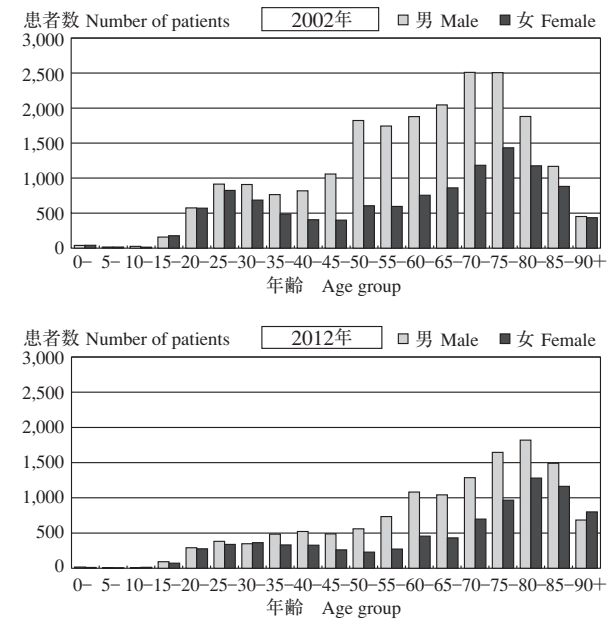


図2 新登録結核患者数の年齢分布, 性別, 2002年・2012年
Fig. 2 Age distribution of newly notified tuberculosis patients by sex in Japan, in 2002 and in 2012

表2 新登録潜在性結核感染症登録者数，性・年齢階層別，2010～2012年
Table 2 Newly notified latent tuberculosis infection (LTBI) patients, by sex and age group, in Japan, from 2010 to 2012

年齢 Age group	2010年					2011年					2012年				
	総数 Total	性 Sex		割合 (%)	女/男 Ratio of F/M	総数 Total	性 Sex		割合 (%)	女/男 Ratio of F/M	総数 Total	性 Sex		割合 (%)	女/男 Ratio of F/M
		男 Male	女 Female				男 Male	女 Female				男 Male	女 Female		
総数 Total	4,930	2,206	2,724	100	1.2	10,046	3,966	6,080	100	1.5	8,771	3,470	5,301	100	1.5
0-4	370	182	188	7.5	1.0	542	251	291	5.4	1.2	499	230	269	5.7	1.2
5-9	160	86	74	3.2	0.9	182	92	90	1.8	1.0	219	116	103	2.5	0.9
10-14	162	87	75	3.3	0.9	233	97	136	2.3	1.4	177	90	87	2.0	1.0
15-19	244	139	105	4.9	0.8	327	165	162	3.3	1.0	276	129	147	3.1	1.1
20-24	397	176	221	8.1	1.3	864	257	607	8.6	2.4	753	211	542	8.6	2.6
25-29	462	189	273	9.4	1.4	1,080	379	701	10.8	1.8	879	305	574	10.0	1.9
30-34	519	223	296	10.5	1.3	1,084	408	676	10.8	1.7	876	311	565	10.0	1.8
35-39	534	212	322	10.8	1.5	1,152	448	704	11.5	1.6	893	350	543	10.2	1.6
40-44	519	213	306	10.5	1.4	989	374	615	9.8	1.6	913	315	598	10.4	1.9
45-49	479	193	286	9.7	1.5	923	325	598	9.2	1.8	768	308	460	8.8	1.5
50-54	349	146	203	7.1	1.4	773	278	495	7.7	1.8	701	251	450	8.0	1.8
55-59	290	140	150	5.9	1.1	683	289	394	6.8	1.4	621	261	360	7.1	1.4
60-64	194	101	93	3.9	0.9	577	279	298	5.7	1.1	549	256	293	6.3	1.1
65-69	115	59	56	2.3	0.9	269	134	135	2.7	1.0	256	153	103	2.9	0.7
70+	136	60	76	2.8	1.3	368	190	178	3.7	0.9	391	184	207	4.5	1.1

Ratio of F/M: Ratio of female patients to male patients
%: proportion

検査実施体制の整備等による QFT 検査実施指数の増加」
「QFT 検査の第 2 世代から第 3 世代への移行に伴う陽性
結果者や判定保留結果者およびそれらの割合の増加」等
が関与していることが示された²⁾。女性の男性に対する
比が高い傾向は 2012 年も継続し，1.5 であった。2012 年
の LTBI 登録患者における看護師・保健師が，全体の
23.2% (2,036 人) を占めていることが，女性/男性比が高い
原因の一つと考えられる。2012 年の 50 歳以上におけ
る LTBI 登録者数は，前年と比較して男女共に減少傾向
にあるが，全体の中で占める割合は増加傾向を示し，
2011 年は男性 29.5%・女性 24.7%，2012 年は男性 31.8%・
女性 26.7% であった。

(4) 肺外結核 (表 3)

肺外結核の部位で最も多いのは結核性胸膜炎，次いで
他のリンパ節結核であるのは 2011 年と同様であった。重
症の肺外結核である結核性髄膜炎は年間 150 人前後，粟
粒結核は年間 600 人前後，脊椎結核は年間 250 人前後で
推移しており，目立った減少傾向は認められない。気管
支結核は 2007 年以降増加傾向にあったが，2012 年は減
少に転じた。

外国生まれ結核

(1) 外国生まれ新登録結核患者数の年次推移と性・年
齢階層別分布 (図 3・表 4)

外国籍結核患者 (1998 年～2011 年)，もしくは外国生
まれの新登録結核患者数 (2012 年) は，1998 年の 739 人
以降徐々に増加しており，2012 年は 1,069 人であった。

国籍・出生国不明を除いた全患者に占める外国生まれ結
核患者の割合も増加傾向にある (1998 年 2.1%，2012 年
5.2%)。性別では，2012 年の外国生まれ結核患者の女性/
男性比は 1.3 であった。また年齢階層別では，1998 年以
降，外国生まれ患者に占める 20 歳代の割合が最も高い状
態で推移しており，2012 年にはその割合は 43.8% (1,069
人中 468 人) であった (表に示さず)。20 歳代新登録結核
患者数 (出生国不明を除く) のうち外国生まれ患者数の
占める割合も増加を続け，2012 年は 37.0% (1,265 人中
468 人) に達した。

(2) 入国時期別・国別外国生まれ患者数 (図 4・表 5)

2012 年の入国時期別外国生まれ患者割合を見ると，
最近 5 年以内に入国した人の割合が全年齢層で 37.4% で
あるが，10 歳代では 66.7%，20 歳代では 57.9% と過半数
を占めた。一方，30 歳代では 27.0%，40 歳代では 9.9% で
あった。2012 年の国別外国生まれ患者数は，中国 (294
人，27.5%) とフィリピン (290 人，27.1%) とで約半数を
占め，次いで韓国，ベトナム，インドネシアと続いた。
入国時期別の分析では，最近 5 年以内に入国した患者
は，中国 (159 人，39.8%) が多かったが，5 年以上前に
入国または入国時期不明の患者ではフィリピン (227 人，
33.9%) が多かった。

(3) 職業分類別・年齢階層別外国生まれ患者数 (表 6)

職業分類別外国生まれ新登録結核患者総数で，最も高
い割合を占めたのは「他常用勤労者 (296 人，28%)」，次
いで「無職・その他 (222 人，21%)」「生徒・学生 (215 人，
20%)」であった。男女別でも，「他常用勤労者」がそれ

表3 新登録結核患者数, 結核病類別, 性・年齢階層別, 1998~2012年

Table 3 Newly notified tuberculosis patients by affected organ, sex and age group, in Japan, from 1998 to 2012

性・年齢 2012年 Sex, Age group, in 2012	全結核 Tuberculosis notifications, all forms	肺結核 Pulmonary tuberculosis		肺外結核 Extra-pulmonary tuberculosis																	
		肺 Lung	気管支 Bronchi	咽頭・ 喉頭 Pharyn- geal/La- ryngeal	粟粒 Miliary	胸膜炎 Pleural	膿胸 Empy- ema	肺門リン パ節 Hilar lymph node	他のリン パ節 Other lymph node	髄膜炎 Menin- ges	腸 Intes- tines	脊椎 Verte- brae	他の骨 関節 Other joints/ bones	腎・ 尿路 Kidney/ Urinary tract	性器 Geni- tals	皮膚 Skins	眼 Eyes	耳 Ears	腹膜炎 Perito- neum	心膜炎 Pericar- dium	他の 臓器 Other organs
総数 Total	21,283	16,826	107	46	608	3,653	63	134	1,038	152	348	255	157	82	20	97	34	16	176	80	166
男 Male	12,988	10,688	42	20	243	2,507	37	63	292	85	160	118	74	42	10	31	19	5	72	52	89
女 Female	8,295	6,138	65	26	365	1,146	26	71	746	67	188	137	83	40	10	66	15	11	104	28	77
0-14	63	46	0	0	0	4	0	7	6	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
15-19	165	142	0	0	2	23	0	3	5	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20-29	1,288	1,092	12	4	4	150	3	10	76	11	21	12	6	1	1	5	3	9	0	7	
30-39	1,528	1,257	10	4	10	178	8	9	119	16	22	12	8	2	1	6	7	3	5	2	8
40-49	1,600	1,309	4	6	20	202	1	14	98	11	37	8	5	9	3	4	8	1	6	1	14
50-59	1,795	1,476	11	8	28	213	1	17	94	27	40	17	9	11	3	6	2	1	15	4	15
60-69	3,012	2,376	13	4	53	416	5	28	187	17	71	42	30	17	5	14	6	2	31	16	39
70-79	4,595	3,447	33	14	147	854	18	34	249	32	91	83	50	23	3	23	4	2	57	35	37
80-89	5,753	4,497	19	5	264	1,238	20	11	175	29	62	70	40	18	4	33	2	3	42	21	41
90+	1,484	1,184	5	1	80	375	7	1	29	6	3	10	9	1	0	9	0	0	11	1	5
年 Year	総数 Total																				
1998	41,033	33,981	-	-	505	5,125	251	136	1,469	154	335	385	328	227	78	100	12	25	-	-	692
1999	43,818	36,190	-	-	603	5,586	221	143	1,538	163	345	334	300	179	96	94	13	28	-	-	684
2000	39,384	32,338	-	-	597	5,108	202	123	1,432	158	356	319	272	181	72	123	16	38	-	-	656
2001	35,489	28,868	-	-	642	4,840	162	102	1,368	177	275	276	274	172	72	104	11	25	-	-	619
2002	32,828	26,472	-	-	626	4,666	152	84	1,269	188	323	299	222	148	66	100	19	29	-	-	544
2003	31,638	25,478	-	-	639	4,539	142	83	1,341	149	276	268	223	144	47	87	15	28	-	-	570
2004	29,736	23,829	-	-	617	4,491	125	70	1,293	160	299	275	220	112	53	95	13	30	-	-	564
2005	28,319	22,655	-	-	585	4,338	115	88	1,151	180	296	233	201	130	37	98	11	33	-	-	536
2006	26,384	20,856	-	-	616	4,192	97	79	1,191	127	263	248	231	112	40	109	9	24	-	-	554
2007	25,311	20,264	108	31	602	4,134	75	57	1,186	153	328	232	190	108	34	92	19	18	92	61	281
2008	24,760	19,780	117	43	570	4,001	78	68	1,194	171	292	273	170	121	34	92	13	29	144	80	181
2009	24,170	19,278	121	36	604	3,940	63	73	1,221	162	321	241	182	100	23	121	26	22	168	88	179
2010	23,261	18,735	127	53	598	3,959	48	74	1,158	138	330	239	159	88	35	97	29	12	154	76	171
2011	22,681	17,969	129	57	695	3,929	52	70	1,199	156	317	250	145	83	22	89	27	21	173	89	187
2012	21,283	16,826	107	46	608	3,653	63	134	1,038	152	348	255	157	82	20	97	34	16	176	80	166

注: 結核病類は重複あり Note: Cases having multiple organs are counted independently.

表4 新登録全結核患者の発生動向年次推移, 国籍または出生国別, 性別, 1998~2012年

Table 4 Annual trend of newly notified tuberculosis patients by nationality or country of origin, and by sex, from 1998 to 2012

暦年 Year	新登録全結核 患者数 Number of newly notified tuber- culosis patients, all forms	日本生まれ Born in Japan	外国籍もしくは 外国生まれ Foreign nationalities or foreign-borns (*1)	国籍または 出生国不明 Unknown nationalities or country of origin	外国生まれ 割合 (%) Proportion of foreign-borns (%) (*2)	性 Sex (*3)		女/男 (比) Ratio of Females to Males
						男 Male	女 Female	
1998	41,033	34,382	739	5,912	2.1	365	374	1.0
1999	43,818	37,094	821	5,903	2.2	415	406	1.0
2000	39,384	33,720	837	4,827	2.4	436	401	0.9
2001	35,489	30,305	866	4,318	2.8	442	424	1.0
2002	32,828	28,667	824	3,337	2.8	411	413	1.0
2003	31,638	27,665	906	3,067	3.2	433	473	1.1
2004	29,736	26,205	931	2,600	3.4	479	452	0.9
2005	28,319	25,247	923	2,149	3.5	438	485	1.1
2006	26,384	23,505	920	1,959	3.8	444	476	1.1
2007	25,311	23,451	842	1,018	3.5	364	478	1.3
2008	24,760	23,163	945	652	3.9	416	529	1.3
2009	24,170	22,808	938	424	4.0	414	524	1.3
2010	23,261	21,976	952	333	4.2	424	528	1.2
2011	22,681	21,372	921	388	4.1	416	505	1.2
2012	21,283	19,555	1,069	659	5.2	474	595	1.3

*1: 2011年までは外国籍結核患者数, 2012年は外国生まれ結核患者数。

Number of tuberculosis patients with foreign nationalities until 2011, number of foreign-born patients afterwards.

*2: 2011年までは外国籍患者割合, 2012年は外国生まれ患者割合 (国籍または出生国不明を除く)。

Proportion of tuberculosis patients with foreign nationalities until 2011, proportion of foreign-born patients afterwards, excluding those of unknown nationality or country of origin.

*3: 外国籍または外国生まれにおける性別。

Sex distribution among foreign nationalities or foreign-borns.

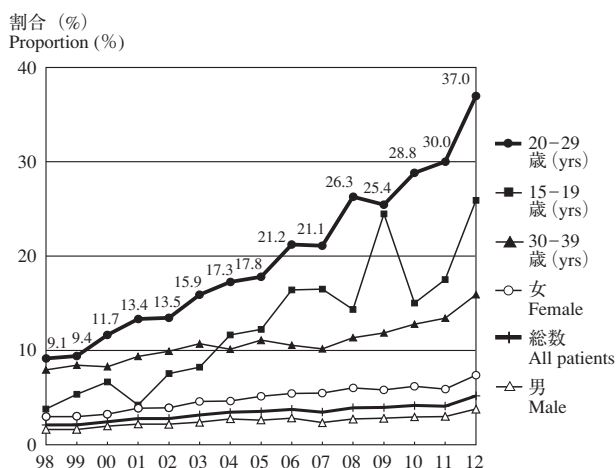


図3 新登録結核患者に占める外国生まれ結核患者割合の推移、性別・特定年齢階層別、1998～2012年

Fig. 3 Annual trend of proportion of foreign-born among newly notified tuberculosis patients, by age group, from 1998 to 2012

割合：国籍不明を除く In the proportion, the numerator excluded those whose nationalities are unknown.

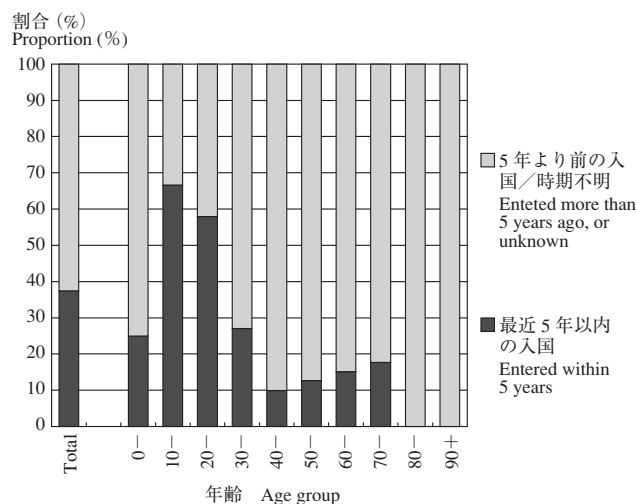


図4 外国生まれ結核患者の入院時期別割合、年齢階層別、2012年

Fig. 4 Proportion of foreign-born tuberculosis patients, by age group and time of entry to Japan, in 2012

表5 外国生まれ結核患者数および割合、出生国別、入院時期別、2012年
Table 5 Number and proportion of foreign-born tuberculosis patients by country of origin and time of entry to Japan, in 2012

総数 Total		最近5年以内の入院 Entered within 5 years		5年より前の入院/時期不明 Entered more than 5 years ago, or unknown	
総数 Total	1,069 100%	総数 Total	400 100%	総数 Total	669 100%
中国 China	294 27.5	中国 China	159 39.8	フィリピン Philippines	227 33.9
フィリピン Philippines	290 27.1	フィリピン Philippines	63 15.8	中国 China	135 20.2
韓国 Republic of Korea	92 8.6	インドネシア Indonesia	32 8.0	韓国 Republic of Korea	76 11.4
ベトナム Vietnam	63 5.9	ベトナム Vietnam	32 8.0	ベトナム Vietnam	31 4.6
インドネシア Indonesia	57 5.3	ネパール Nepal	21 5.3	ブラジル Brazil	25 3.7
ネパール Nepal	42 3.9	韓国 Republic of Korea	16 4.0	インドネシア Indonesia	25 3.7
ブラジル Brazil	30 2.8	ミャンマー Myanmar	13 3.3	ネパール Nepal	21 3.1
タイ Thailand	26 2.4	インド India	10 2.5	タイ Thailand	16 2.4
インド India	20 1.9	タイ Thailand	10 2.5	インド India	10 1.5
ミャンマー Myanmar	20 1.9			ペルー Peru	10 1.5
ペルー Peru	12 1.1				
台湾 Taiwan	12 1.1				
その他 Others	40 3.7	その他 Others	39 9.8	その他 Others	58 8.7
国名不明 Unknown	71 6.6	国名不明 Unknown	5 1.3	国名不明 Unknown	35 5.2

国名：10名以上患者発生届のあった国名を掲載 Only those nations with more than ten tuberculosis cases are listed.

それ最多であった。「接客業」に分類される外国生まれ結核患者は61人（6%）であった。年齢階層別では、15～24歳で「生徒・学生」、25～39歳では「他常用勤労者」が最も多く、40～44歳では「無職・その他」が最多であった。45～49歳では、再び「他常用勤労者」が最も多く、50～54歳では「他常用勤労者」と「無職・その他」が同数、55歳以上では「無職・その他」が最多であった。

おわりに

わが国の新登録結核患者数は減少傾向にあるが、未だ年間21,000人以上の結核患者が発生しており、人口10

万対全結核登録者数も16.7で、米国（同3.4）の約4.9倍、ドイツ（同4.3）の約3.9倍である。結核患者における高齢化はさらに進行し、結核患者の半数以上（55.6%）を70歳以上の高齢者が占めている。2011年に前年から比較して著増した新登録潜在性結核感染患者数は、2012年は減少傾向を認めた。

わが国の外国生まれ新登録結核患者数とその割合は共に増加傾向にある。2011年と比べ2012年の外国生まれ新登録結核患者数が増加した理由としては、国籍による情報が出産国による情報に変更されたことが主たる要因と考えられるが、個々の背景や地域別の動向については、

表6 職業分類別外国生まれ結核患者数, 性別・年齢階層別, 2012年
Table 6 Occupation of foreign-born tuberculosis patients by sex and age group, in Japan, in 2012

年齢 Age group	総数 Total	接客業 Service workers	医療職 Health care workers	教員・保育士 Teachers/Nursery staff	乳幼児・児童 Infants/Children	生徒・学生 Students	他常用勤労者 Other regular employees	他臨時雇・日雇 Other temporary/day laborer	他自営・自由業 Other self-employed	家事従業者 Housewives	無職・その他 Unemployed/Others	不明 Unknown
総数 Total	1,069	61 (6)	17 (2)	4 (0.4)	11 (1)	215 (20)	296 (28)	117 (11)	19 (2)	65 (6)	222 (21)	42 (4)
男 Male	474	19 (4)	2 (0.4)	2 (0.4)	5 (1)	134 (28)	150 (32)	55 (12)	12 (3)	—	84 (18)	11 (2)
女 Female	595	42 (7)	15 (3)	2 (0.3)	6 (1)	81 (14)	146 (25)	62 (10)	7 (1)	65 (11)	138 (23)	31 (5)
0-14	7	—	—	—	7 (100)	—	—	—	—	—	—	—
15-19	42	—	—	—	4 (10)	25 (60)	5 (12)	3 (7)	—	—	5 (12)	—
20-24	262	6 (2)	—	—	—	119 (45)	85 (32)	16 (6)	2 (1)	6 (2)	24 (9)	4 (2)
25-29	206	12 (6)	3 (1)	—	—	57 (28)	76 (37)	20 (10)	1 (0)	10 (5)	19 (9)	8 (4)
30-34	151	14 (9)	1 (1)	—	—	11 (7)	47 (31)	17 (11)	—	15 (10)	34 (23)	12 (8)
35-39	86	7 (8)	5 (6)	2 (2)	—	2 (2)	27 (31)	11 (13)	2 (2)	13 (15)	13 (15)	4 (5)
40-44	110	12 (11)	4 (4)	—	—	1 (1)	21 (19)	20 (18)	2 (2)	11 (10)	34 (31)	5 (5)
45-49	71	5 (7)	2 (3)	—	—	—	22 (31)	15 (21)	3 (4)	2 (3)	19 (27)	3 (4)
50-54	35	1 (3)	—	—	—	—	9 (26)	6 (17)	3 (9)	4 (11)	9 (26)	3 (9)
55-59	28	3 (11)	—	1 (4)	—	—	1 (4)	4 (14)	2 (7)	4 (14)	12 (43)	1 (4)
60+	71	1 (1)	2 (3)	1 (1)	—	—	3 (4)	5 (7)	4 (6)	—	53 (75)	2 (3)

(%)

より詳しい検討が必要である。20歳代においては、外国生まれの結核患者が4割弱を占めた。わが国で結核を発病した外国生まれ患者の出生国の多くは、世界保健機関の指定する結核高負担国である³⁾。国際化に伴って外国人留学生や労働者の増加が進む中⁴⁾、結核患者に占める外国生まれの患者割合は、他の先進国と同様に今後も増加していくことが予想される。外国生まれ結核患者は、治療途中で帰国となる事例も少なくなく⁵⁾、治療中断・脱落を防ぐためにも、今後さらなる対策支援の強化が求められる。

文 献

1) 厚生労働省：結核に関する特定感染症予防指針（平成

19年厚生労働省告示72号）。（2013年11月7日閲覧）.
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou03/dl/zenbun.pdf

- 2) (公財)結核予防会結核研究所疫学情報センター：潜在性結核感染症新登録患者数増加の要因に関する全国保健所調査報告書。（2013年11月7日閲覧）. <http://www.jata.or.jp/rit/ekigaku/resist/survey/>
- 3) World Health Organization: WHO report 2011 Global Tuberculosis Control. WHO, Geneva, 2012, 9-16.
- 4) 法務省出入国管理統計：11-00-06国籍別入外国人の在留資格。（2012年9月6日閲覧）. <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?lid=000001089430>
- 5) 日本結核病学会国際交流委員会：在日外国人結核全国実態調査2008年—治療途中で帰国してしまったケースを中心に。結核. 2012; 87: 591-597.

Report and Information

TUBERCULOSIS ANNUAL REPORT 2012**— (1) Summary of Tuberculosis Notification Statistics and Foreign-born Tuberculosis Patients —**

Tuberculosis Surveillance Center (TSC), RIT, JATA

Abstract This brief summary report is the first of a series of reports based on the Tuberculosis Annual Report 2012. It includes a summary of tuberculosis (TB) statistics, and an overview of foreign-born TB patients notified and registered in 2012 in Japan.

A total of 21,283 patients with all forms of TB were notified in 2012, a rate of 16.7 per 100,000 population. Since 2000, the TB notification rates continued to decline until 2012. A total of 8,237 sputum-smear positive pulmonary TB patients were notified in 2012, a rate of 6.5 per 100,000 population. The number of patients with latent TB infection drastically increased from 4,930 in 2010 to 10,046 in 2011, and declined to 8,771 in 2012.

The number of foreign-born TB patients increased from 739 in 1998 to 1,069 in 2012. These patients accounted for 2.1% of all new TB patients in 1998, and this percentage increased to 5.2% in 2012. New foreign-born TB patients aged 20–29 years accounted for 37.0% of all new TB patients of the same age group in 2012. Among the foreign-born TB patients, more than half were from China (27.5%) and the Philippines (27.1%). In most cases, foreign-born TB patients entered Japan within 5 years, including 66.7% of those aged 10–19 years,

and 57.9% of those aged 20–29 years. These foreign-born TB patients were largely regular employees (28%) other than service workers, health care workers, and teachers, followed by unemployed persons (21%) and students (20%).

With an increase in the number of immigrants in Japan, the proportion of foreign-born TB patients is also expected to increase, particularly that of young adults and those from countries with a high TB burden. Comprehensive programs are required to ensure that these patients adhere to their anti-TB treatment.

Key words: Tuberculosis, Notification rate, Latent tuberculosis infection, Country of origin, Occupation

Research Institute of Tuberculosis (RIT), Japan Anti-Tuberculosis Association (JATA)

Correspondence to: Tuberculosis Surveillance Center (TSC), Research Institute of Tuberculosis (RIT), JATA, 3-1-24, Matsuyama, Kiyose-shi, Tokyo 204-8533 Japan.
(E-mail: tbsur@jata.or.jp)